

「授業備品」

N01 H. 27. 6. 2 西留安雄

該当の地域の先生方に訪問では、お伝えできなかつたことを不定期で連絡をします。ぜひ時代を読み、授業力(学力)の向上を目指して下さい。

1 新しい自分

新しい教育の方向性に目を向けず、同じ授業をし、同じ評価をしている現状を全国で見てきた。新しいものへの反応が鈍かったり、新しいものに対する拒否反応があるからではないだろうか。新しい教育の方向性が打ち出されたら、教員自身が自らの指導の在り方を変えなければならない。

社会は大きく変化している。企業は変わっていかないと生き残れない（一般企業関係者）と言われている。授業も同じだ。変化に対応して過去の指導方法を変えることが必要である。「強い者、賢い者が生きるのではない。変化出来るものが生き残るのだ。」進化論で有名なダーウィンの名言である。これは教育現場にも当てはまる。

● 講義型授業を止め、多弁も慎む

①いつのまにか教師主導（教え込み、教師の主体性）＊子どもの主体的な学びを引き出す教師のかかわりだ！。

「授業進度が遅れないようにしなくてはならない・・・。」「細かく全部教えてあげなければならぬ・・・。」

「生徒は板書も写すし、講義型の授業の方が手っ取り早い・・・。」

②いつのまにか一問一答 (学び合いのイメージがわからない、これが当たり前という思い込み) →教師の多弁

「学び合ってどんなの？・・・。」・「子どもは思いや考えを話すのが苦手だ・・・。」・「学年が上がるとしゃべってくれない・・・。」

2 授業改善3視点

昨年の高知県の全国学力・学習状況調査結果の概要から、①めあて・学習課題の提示では、10 ポイントの開き②学び合いの場の設定は、約 30 ポイントの開き③振り返りでは、学校と子供の約 24 ポイントの開き④思考の高まりでは、約 15 ポイントの開きがあることが判明した。学校質問紙と子供の意識の間に差が見られる。そこで授業改善を教師と子供が一体となり推進する必要があると考え、「①見通し（課題の工夫）②子供の主体的な学び合い③振り返る活動」を授業の 3 視点としたい。なお、全国も同じ状況がありこの 3 視点の改善に努めている。

4 相互授業参観指導案様式(ワンペーパー指導案)

日時、場所、対象学級、指導者

1 本時の構想

(1) ねらい (あいまいな目標とせず、行動目標を書く。)

(2) 展開

展開	□子供の活動	○教師の働きかけ
課題の提示	<p>(課題設定)</p> <p>1 前時の振り返りをする</p> <p>2 ノートに日付けや縦線を引く</p> <p>3 本時の資料を見て気付き発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気がついたこと ・考えられること ・調べてみたいこと <p>(課題の提示)</p> <p>4 2段課題を書き、青囲み</p> <p>5 課題を3回、声に出し読む</p>	<p>1 前時の振り返りを指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートや学習掲示等で振り返らせる。 <p>2 本時の資料を提示する</p> <p>(共通問題の作成)</p> <p>3 本時の2段課題を示し、板書し、色で囲む</p> <p>「○○から、○○を見つけよう。</p> <p>「また、そのことについて考察をしよう。」</p> <p>働きかけ1 見通し（課題設定）</p> <p>○発問「～～～～～。」</p> <p>☆評価（～～～～～ができる。）</p>

もつ 問い合わせ	6 問題を見て、疑問や分からぬところ、既習学習から解く方法を考える	4 1分間見させる。
問い合わせの共有	7 問われていることを確認し、大まかな答えを知る ・友達の問い合わせをたずねる・共通の問い合わせをもつ 8 シラバスを確認する 9 本時の学習わざを知る	5 子供の疑問や迷っていることを、板書等で全員に紹介をする。子供の気付きを全体に紹介し、かかわりをもたせる 6 説明「学習の流れは○○です。」 7 説明「今日の言語わざは、△△です。」
自力解決	10 既習事項を生かしながら、自分なりに問題解決する ・友達の気付きを参考にしながら自分の考えを書く ・根拠を明確にして書く。	8 説明「まず自力解決です。」 ・自力解決ができる子供→他の考え方を書く ・支援が必要な子供→個別または小集団で指導
集団解決	11 ペア学習をする ①礼②褒めてアドバイス③礼 *メモ 12 班学習をする ①W S ②司会者方式 ③ノート交回し ④ノート展覧会 *メモ 【班学習の進め方】 司会：これから（ ）について話し合います。全員：はい。 司会：時間は（ ）分です。では、意見を発表してください。 ◇全員が意見を言う。◇意見を言えない人は、「まだできません」と言う。◇「です」「ます」を使って短く発表する。 司会：友達の意見に質問はありませんか。◇質問があれば「（ ）君・さん、どうですか。」と問う 13 学び合い1「単純な意見交換」 *メモ 14 学び合い2「考察」 *メモ ・立場を添え挙手・立つ位置・反応・前発表者の名前・他者半分自己半分・類似相違共通	9 指示「次は、ペア学習です。褒めてアドバイスをしましょう」 10 班学習の本日の方法を指示する ①前人の名前を言い、発表する 働きかけ2 言語わざ・学び合いの支援】 11 指示「全体で学習で意見のみ出しましょう」 12 考察を指示「子供の話し合いでの授業展開」 ・「前人の名前を言い、意見交流をしましょう。」 ・相互指名の方法指導 13 構造的に板書する。 ・子供の意見を反映させた板 14 教師の修正 働きかけ2 学び合い（言語活動） ○発問「～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。）
とめ 価値の共有（ま	15 本時の学習についてノートに整理し、ポイントとなる点などについて書く。 16 3人が発表する。 ・ 17 3人の意見を代表の子がまとめる	15 指示「（話し合いで出された考えをつかって学習問題に対する答えをまとめてみましょう。」 16 指示「まとめたことを発表しましょう。」（3人） 17 指示「意見を誰かまとめて下さい。」
振り返り	18 振り返りを書く ①分かったこと②学んだこと③知りたいこと 19 振り返りを3人が発表する 20 振り返りの振り返り	18 指示「3視点で振り返りを書きましょう。」 19 指示「振り返りを発表しましょう。」（3人） 20 指示「振り返りを誰かまとめて下さい。」 *発展・補充は、時間があれば行う。 働きかけ3 振り返り（言語活動） ○発問「～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。） 働きかけ4 教科目標 ○発問「～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。）